

横浜冷凍株式会社 証券コード2874

# 第76期(2023年9月期) 決算説明会



旧ロゴ



新ロゴ



## “継承と進化”

75周年を迎えた2023年、次の100周年へ向かって新たなスタートを切るためにコーポレートロゴをリニューアルしました。従来のロゴをベースとし、ソリッドで力強い形でありながらも、エッジには丸みをもたせ、強さの中にある優しさや食品への気配り、安定を表現。当社の進化と挑戦をイメージさせる色として、従来よりも濃い赤色にコーポレートカラーを変更しています。

# タグラインとボディコピーを制定



ロゴの見直しにあわせ、新たにタグラインとボディコピーを制定しました。冷蔵倉庫事業と食品販売事業で食のインフラを支え、人々の幸せをつなぐという社員の思いが込められています。

## タグライン

# 人とおいしさのあいだに

これからも当社は地域社会、人と人のつながりを大切にし、安全・安心な食の安定供給により、豊かな食生活を守り続けていきます。

## ボディコピー

おいしさは、ココロを満たす  
おいしさは、カラダをつくる  
すべての人を幸せにするみなもと

食により添い、食を豊かにする  
かかせない存在として、  
私たちはこれからもずっと  
そのおいしさを守り続けていきます

冷蔵倉庫と食品販売  
ふたつの事業で日本へ、世界へ  
人のために食をつなぐ使命を果たします

生産地から食卓まで、  
食にかかわる人たちの  
ほほえみもつないでいく

人とおいしさのあいだに  
ヨコレイ

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
6. APPENDIX

# 1

## 2023年9月期 連結決算サマリー

FY2023 Summary

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

堅調な需要により売上高は**前期比16.1%増**と**二桁増収**  
販売経費増のほか**人件費・共通経費の増加もあり減益に**

売上高

1,338.6億円

前年同期比  
+16.1%

営業利益

37.8億円

前年同期比  
△11.0%

冷蔵倉庫事業

- 堅調な需要により保管料収入が大幅に増加し増収
- 電気料金高騰に起因するコスト増加はあるものの、既存設備の入れ替え等による省エネ化や料金改定交渉が増益に寄与

食品販売事業

- 水産品および畜産品が順調に推移し、増収に大きく貢献
- ALPS処理水問題でホタテが値崩れ、畜産はインバウンドの回復でポーク・チキンが増益基調なるも上期の遅れが響き減益

# TOPICS1: FTSEのインデックス構成銘柄に選定

ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも継続選定

NEW!



**FTSE Blossom  
Japan Index**

継続



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

## TOPICS2: 環境配慮型物流センターの拡充



- 太陽光発電システムやDXなどの新鋭設備を備えた「環境配慮型物流センター」  
十勝第四物流センター（仮称）及び 岡山物流センター（仮称）を着工

現在  
50カ所

2024年  
竣工予定

2025年  
竣工予定

### 全国の 冷蔵倉庫拠点

北海道・東北 10カ所  
圏央 7カ所  
京浜 7カ所  
中京・東海 6カ所  
阪神 5カ所  
九州 15カ所

2024年1月  
恵庭  
スマートLC  
(仮称)



2024年1月  
夢洲第二LC  
(仮称)



2024年3月  
箱崎LC  
(仮称)



北海道地区 第8の物流拠点

十勝第四  
物流センター  
(仮称)

2023年8月着工、  
2025年4月竣工予定

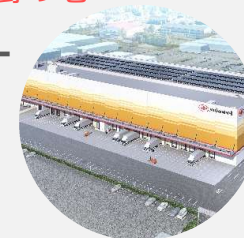


- 当社国内初の自動倉庫（全自動ラック）を導入
- 当社北海道では初の太陽光発電設備およびリチウムイオン蓄電池を導入

阪神地区から九州地方までをカバーする  
中国・四国地方の要衝の地

岡山物流センター  
(仮称)

2023年8月着工、  
2025年春竣工予定



- 複合型マルチ物流サービス対応L字型バースを完備した、地球にやさしい最新鋭の次世代型冷蔵倉庫
- 中国・四国地方で最大規模の冷蔵倉庫



# 2

## 2023年9月期 決算実績

Financial Summary for FY2023

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

# 連結損益計算書



- 売上高1,338億円(前年同期比+16.1%)、営業利益37.8億円(前年同期比△11.0%)の増収減益
- 売上総利益は微増なるも、販売経費増に加え人件費の増加や本社移転経費等により営業減益

(単位:百万円)	22/09期	23/09期	前期比		(ご参考)
			増減額	増減率	業績予想
売上高	115,257	<b>133,862</b>	18,605	16.1%	124,000
売上総利益	12,584	<b>12,824</b>	240	1.9%	-
売上総利益率	10.9%	<b>9.6%</b>	△1.3pt	-	-
営業利益	4,252	<b>3,785</b>	△466	△11.0%	5,000
営業利益率	3.7%	<b>2.8%</b>	△0.9pt	-	4.0%
経常利益	4,999	<b>4,203</b>	△795	△15.9%	5,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,317	<b>2,831</b>	△485	△14.6%	3,400
設備投資額	7,068	<b>12,378</b>	5,310	75.1%	-
減価償却費	6,413	<b>6,581</b>	167	2.6%	-
E B I T D A	10,665	<b>10,366</b>	△299	△2.8%	-
自己資本比率	46.8%	<b>43.4%</b>	△3.4pt	-	-

# 連結貸借対照表

- 流動資産の売上債権/商品の増加は単価上昇が主な要因
- 固定資産の有形固定資産は来年以降竣工予定の設備資金の増加

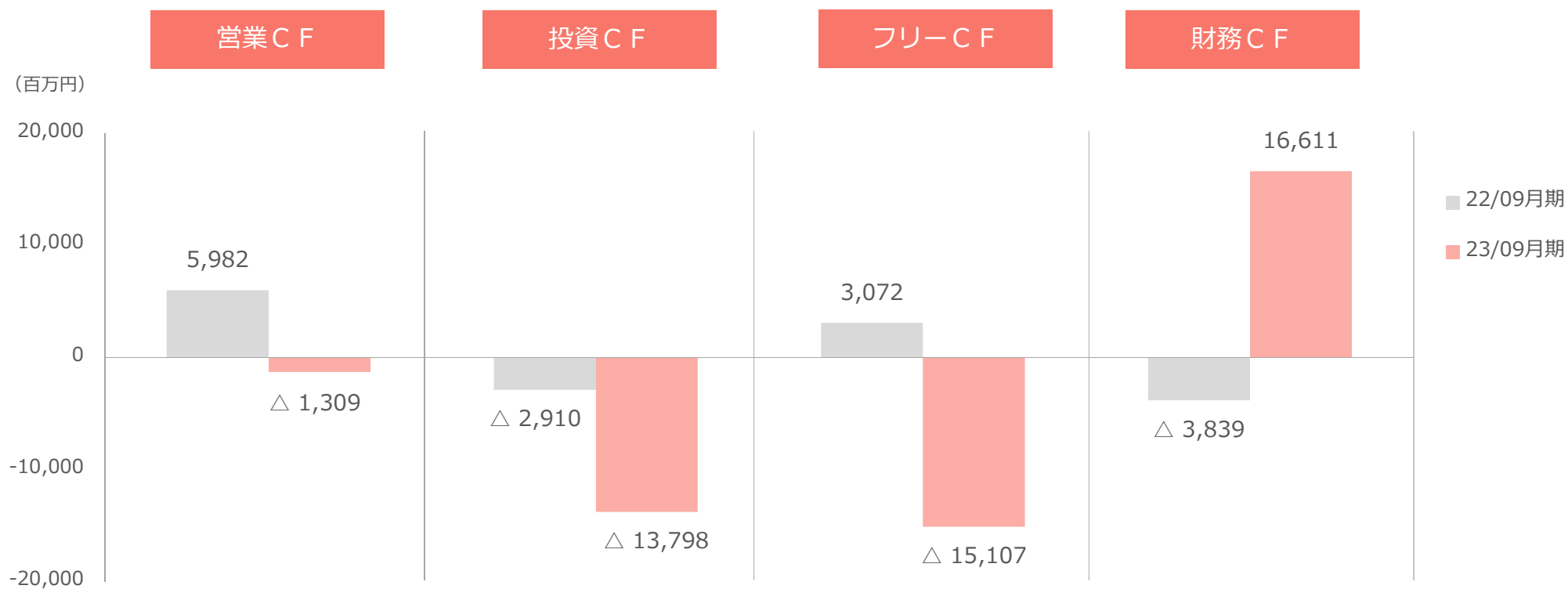
(単位:百万円)

資産	22/09期末	23/09期末	増減	負債・純資産	22/09期末	23/09期末	増減
流動資産	37,934	<b>46,179</b>	8,245	流動負債	31,430	<b>38,777</b>	7,346
受取手形及び売掛金	13,933	<b>20,002</b>	6,069	支払手形及び買掛金	5,225	<b>4,871</b>	△353
商品	15,660	<b>17,935</b>	2,274	短期借入金 ※1	17,458	<b>26,952</b>	9,494
短期貸付金	4,953	<b>870</b>	△4,083	固定負債	62,420	<b>71,583</b>	9,163
固定資産	141,087	<b>151,516</b>	10,428	長期借入金	29,727	<b>38,586</b>	8,859
有形固定資産	94,837	<b>101,168</b>	6,331	純資産	85,170	<b>87,334</b>	2,164
投資有価証券	39,357	<b>42,264</b>	2,907	株主資本	79,157	<b>80,549</b>	1,392
総資産	179,021	<b>197,695</b>	18,674	負債及び純資産	179,021	<b>197,695</b>	18,674

※1 短期借入金には1年以内返済予定の長期借入金を含みます

# 連結キャッシュフロー計算書

- 営業キャッシュフロー：主に売上債権の増加および棚卸資産の増加により減少
- 投資CF：主に有形固定資産の取得による支出により減少
- 財務CF：主に金融機関からの借入により増加



# 3

## セグメント別 決算実績

Segment Result

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

## セグメント別 損益

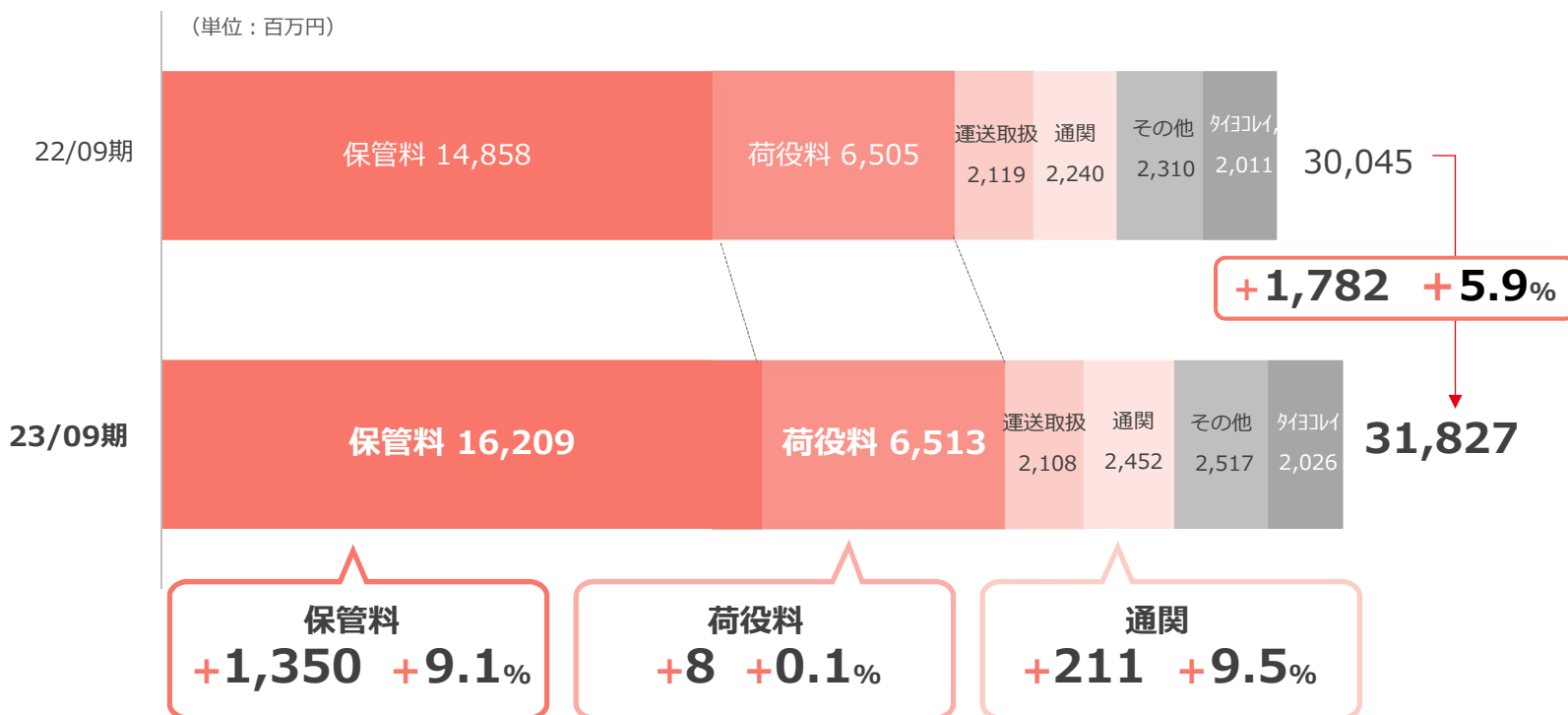
- 冷蔵倉庫事業：前期比引き続き高い在庫水準により保管料収入が大きく伸長し、売上高・営業利益ともに過去最高を達成
- 食品販売事業：水産品、畜産品ともに増収なるも、損益面では上期の出遅れをカバーできず減益

(単位:百万円)	22/09期	23/09期	前期比		23/09期予想	
			増減額	増減率	通期予想	達成率
売上高	115,257	<b>133,862</b>	18,605	16.1%	124,000	108.0%
冷蔵倉庫事業	30,045	<b>31,827</b>	1,782	5.9%	30,500	104.4%
食品販売事業	85,157	<b>101,976</b>	16,819	19.8%	93,500	109.1%
その他	54	<b>58</b>	7	7.4%	-	-
セグメント利益	7,819	<b>7,881</b>	62	0.8%	-	-
冷蔵倉庫事業(※)	6,447	<b>6,689</b>	242	3.8%	6,750	99.1%
食品販売事業(※)	1,324	<b>1,158</b>	△166	△12.5%	1,850	62.6%
その他(※)	47	<b>33</b>	△14	△29.8%	-	-

※ 各セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

# 冷蔵倉庫事業 - 売上高分析 -

- 前期より続いている高い在庫水準で保管料収入が大きく伸長
- 前期に引き続き、環境配慮型施設「複合型マルチ物流サービス」においての冷凍食品の取扱量が増加

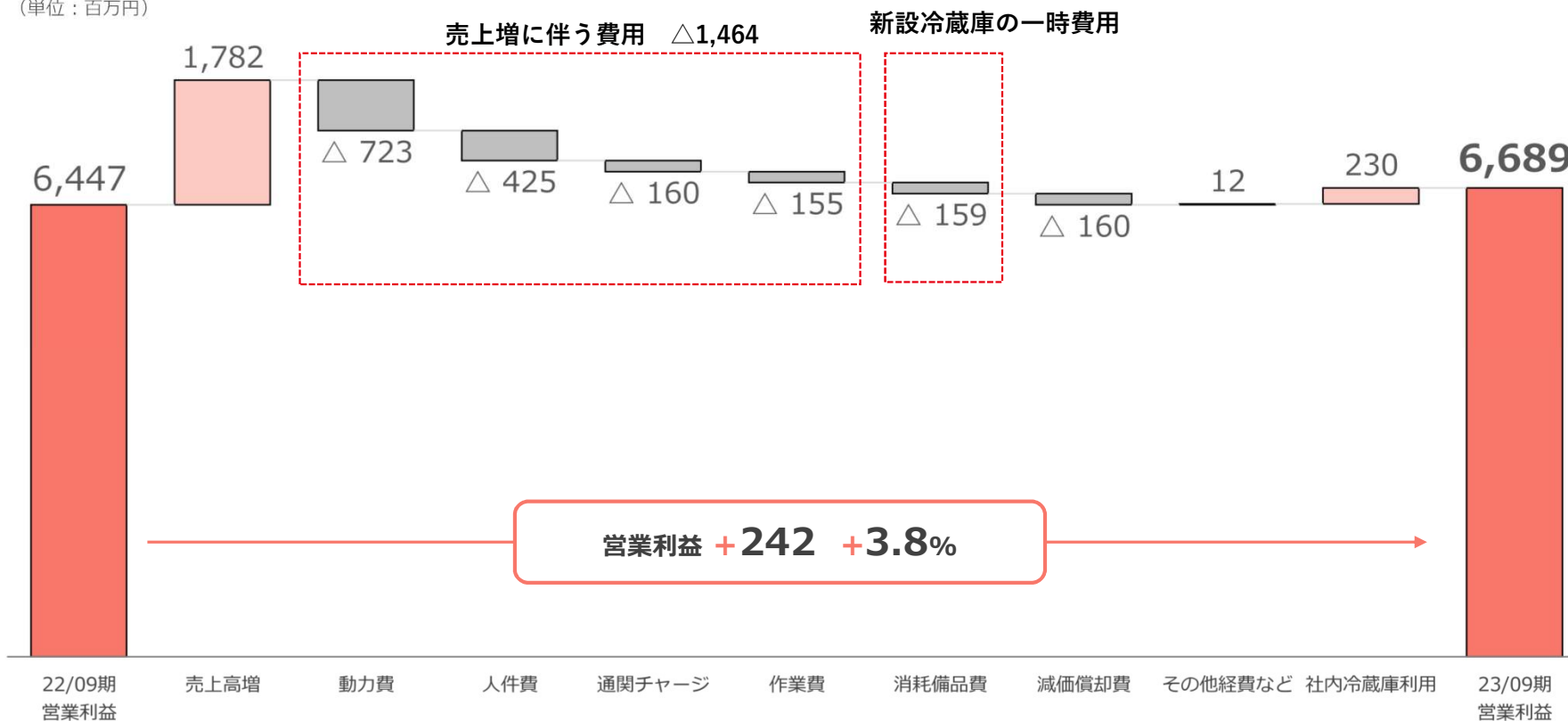


貨物の取扱状況 (前期比)	
入庫取扱量	△0.5%
出庫取扱量	+0.8%
平均保管在庫	+7.2%
平均保管単価	+2.7%

# 冷蔵倉庫事業 - 営業利益分析 -

- 売上高増により242百万円の増益
- 電気料金高騰に起因するコスト増加はあるものの、既存設備の入れ替え等による省エネ化や料金改定交渉が増益に寄与

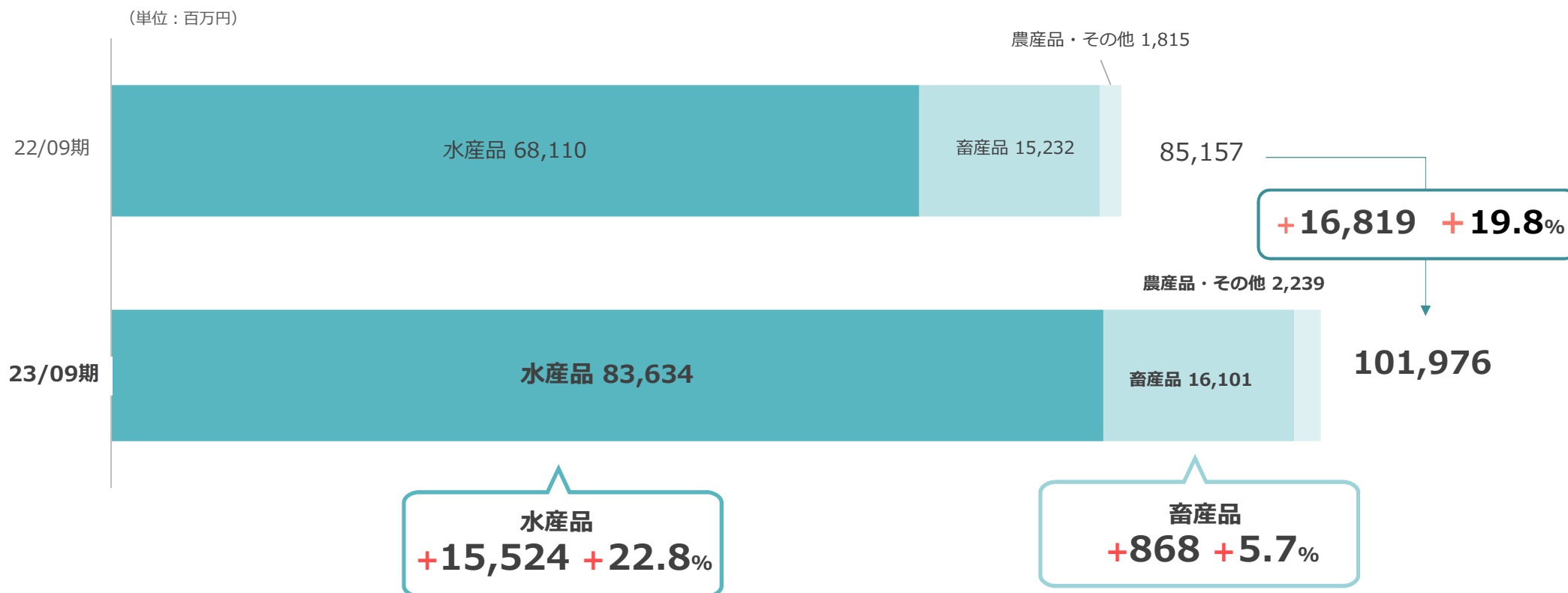
(単位：百万円)





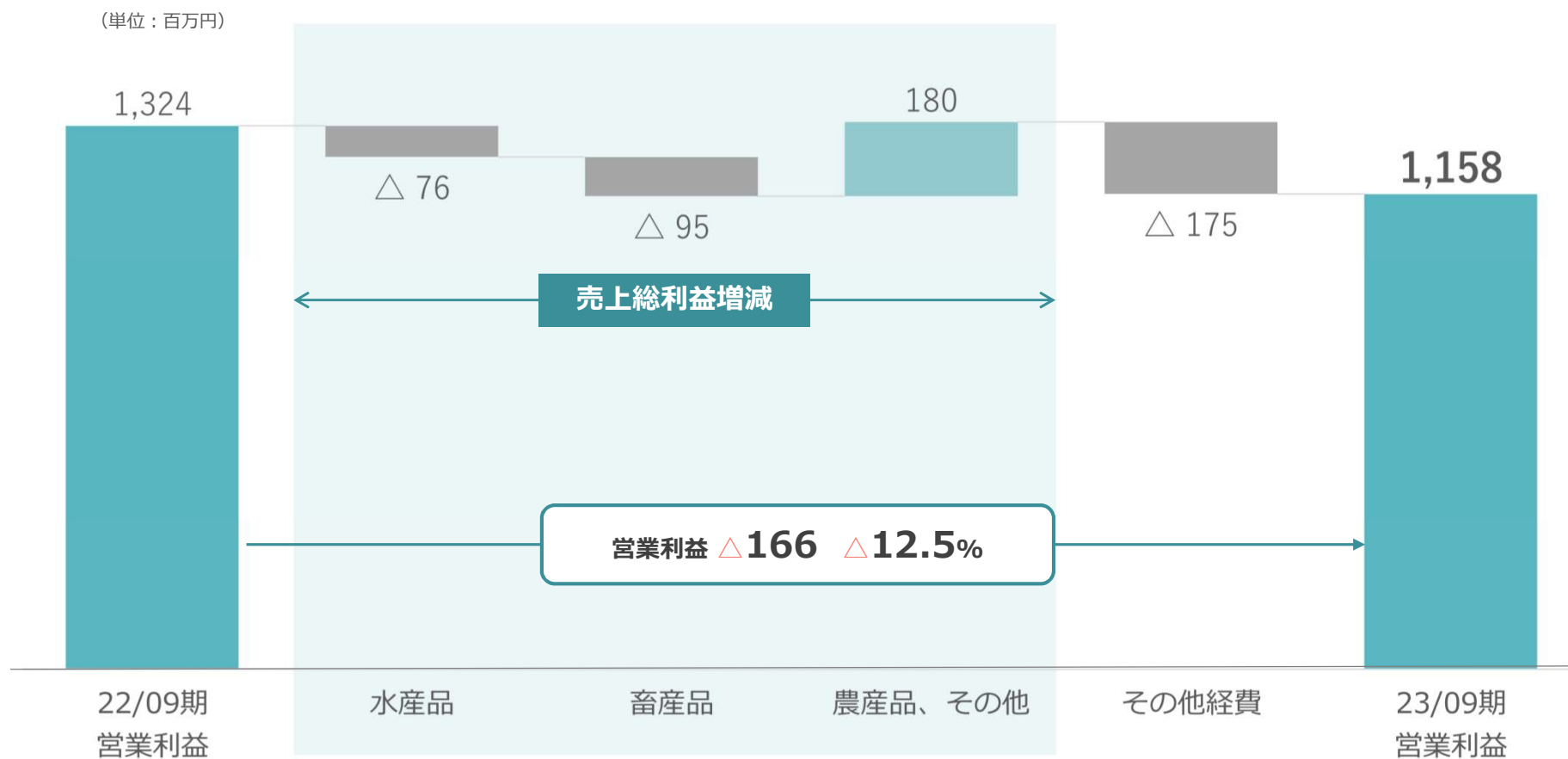
# 食品販売事業 - 売上高分析 -

- 水産品： 中期経営計画で進めている事業品のノルウェーサーモン、前浜の餌料用イワシやサバ、豊漁によりビンチョウマグロ等の取扱いが増加
- 畜産品： インバウンド向け外食需要回復によりポークが伸長、チキンは量販店への販売が好調



# 食品販売事業 - 営業利益分析 -

- 上半期はエビやチキンが需給バランスの崩れから相場下落により減益
- 下半期は第3Q連結会計期間で利益挽回するも7月以降はALPS処理水放出の影響により通期で減益



# 4

## 2024年9月期 通期業績予想

Earnings Forecast for FY2024

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

# 2024年9月期 通期業績予想



(単位:百万円)		2023年9月期 通期実績	2024年9月期 通期予想	前期比	
				増減額	増減率
売上高	冷蔵倉庫事業	31,827	<b>33,950</b>	2,123	6.7%
	食品販売事業	101,976	<b>105,000</b>	3,024	3.0%
	売上高	133,862	<b>139,000</b>	5,138	3.8%
営業利益	冷蔵倉庫事業	6,689	<b>6,650</b>	△39	△0.6%
	食品販売事業	1,158	<b>1,950</b>	792	68.4%
	配賦不能費用	4,096	<b>4,100</b>	4	0.1%
	営業利益 (営業利益率)	3,785 (2.8%)	<b>4,550 (3.3%)</b>	765 (+0.5pt)	20.2%
経常利益 (経常利益率)		4,203 (3.1%)	<b>4,750 (3.4%)</b>	547 (+0.3pt)	13.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)		2,831 (2.1%)	<b>3,050 (2.2%)</b>	219 (+0.1pt)	7.7%
減価償却費		6,581	<b>7,041</b>	459	7.0%

# 株主還元について

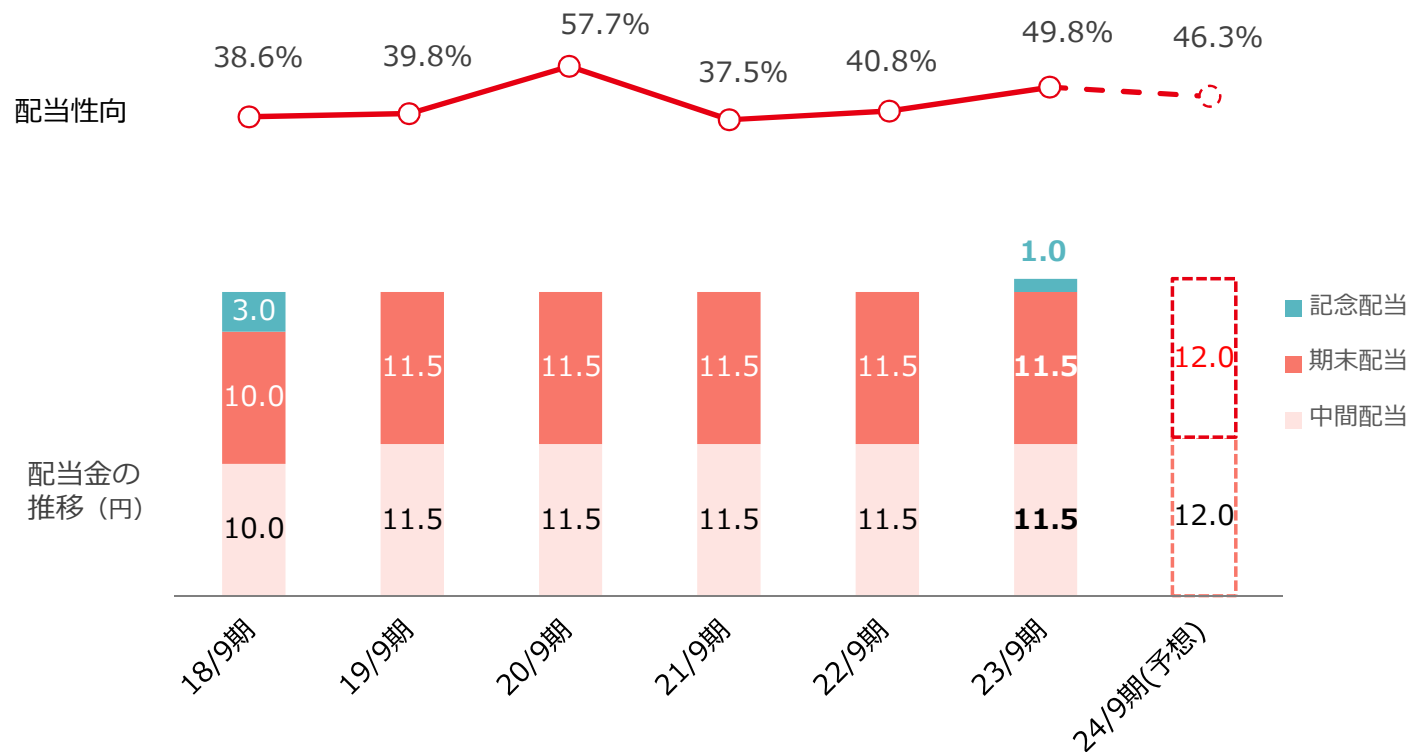
－ 1株当たり配当金と配当性向の推移 －

23/9期 年間 **24円**

23年期末に+1.0円の  
創立75周年記念配当を実施



24/9期 年間 **24円**



# 5

## 持続可能な社会へ

－サステナビリティへの取り組み－

For the sustainable society

経営理念

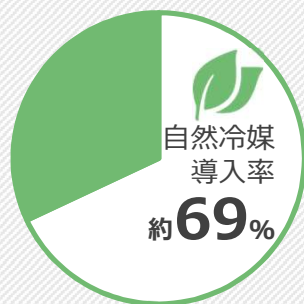
「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
－サステナビリティへの取り組み－
6. APPENDIX

## 環境を破壊しない 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、  
環境にやさしい自然冷媒（NH<sub>3</sub>、CO<sub>2</sub>）  
へ切り替え

業界トップクラス



## 太陽光発電システム によりCO<sub>2</sub>を削減

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電  
モジュール

## 省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が  
**8%** 少ない

収容能力1000トンあたり  
の電気の使用量

業界平均：162 MWh  
当社： **149** MWh

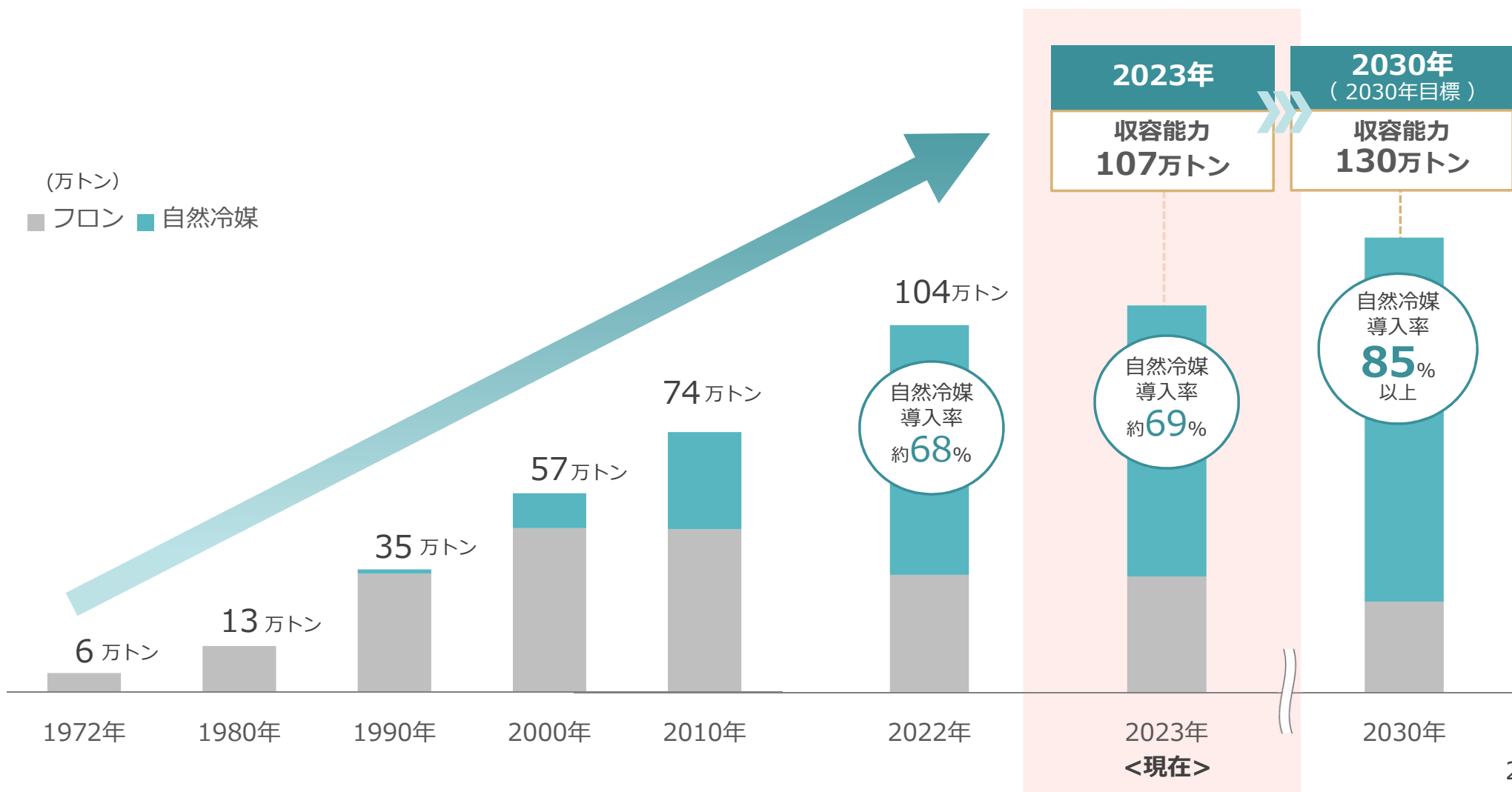
日本冷蔵倉庫協会  
冷蔵倉庫実態調査 2022年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現

✓ 電気高騰の影響が業界平均よりも少ない

温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷蔵倉庫へ

# 環境配慮NO.1 冷蔵収容能力と自然冷媒の割合





## 環境への 取り組み

### 気候変動をはじめとする環境問題への 取り組みを積極的に推進



**TCFD** | TASK FORCE ON  
CLIMATE-RELATED  
FINANCIAL  
DISCLOSURES



「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」  
の提言へ賛同を表明  
「TCFDコンソーシアム」に加盟

## 環境への 取り組み

### 環境に配慮した冷蔵倉庫の建設



#### 太陽光発電システム

- 国内19カ所、タイ2カ所の  
冷蔵倉庫に設置



#### 自然冷媒冷凍機の導入

- 自然冷媒(アンモニア・CO2)  
の導入推進



全事業所でグリーン経営認証を取得

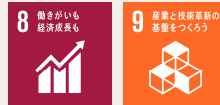
# サステナビリティへの取り組み

## 省人化 & 自動化

### 省人化・自動化システムの導入



■ 作業用ロボットを使用したデバンパレタイズシステム (DPS) を導入  
- 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化



■ カーゴナビゲーションシステム  
- 入出庫作業を大幅に効率化

■ トラック予約受付システム  
- トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み



## ダイバーシティ

### ダイバーシティへの取り組み



■ 女性の活躍・キャリア継続を支援  
■ 働きやすい職場づくりの推進



## ASC・CoC 認証

### 持続可能な水産物



■ ホフセスアクア社(ノルウェー) 保有の全養殖場でASC認証を取得  
■ CoC認証も取得し、環境と社会に配慮した持続可能な水産物の調達・供給を推進



## スポンサー活動

### スポンサー活動による地域貢献



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして  
新江ノ島水族館の エコ活動に協賛



## 社会貢献活動

### 全国食支援活動協力会へ保管場所を提供

東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会のミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS) の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国の子ども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム

#### 中核ロジ拠点



県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

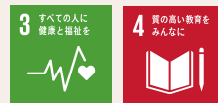
- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを旨とする

## 社会貢献活動

### 寄付・協賛金による支援

#### 『Sweet heart project』への寄付・支援

- ハンディキャップを抱える人々が福祉施設でお菓子作りを行う活動を支援する団体『Sweet heart project』への寄付・支援  
このお菓子を当社のイベントやお客様へのお土産として活用することで同活動を応援



# 6

## APPENDIX

SOURCE BOOK

1. 2023年9月期 連結決算サマリー
2. 2023年9月期 決算実績
3. セグメント別 決算実績
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ  
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX



ヨコレイ本社 (横浜コネクトスクエア)

会社名	横浜冷凍株式会社
本社所在地	横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア10F
設立	1948年5月13日
代表者	代表取締役会長 吉川俊雄 代表取締役社長 松原弘幸
資本金	14,303百万円
事業拠点	冷蔵倉庫事業 国内50 海外5 食品販売事業 国内25 海外1
従業員数	連結 1,658名 単体 1,335名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)

※2023年9月30日現在

## 冷蔵倉庫事業

冷蔵倉庫 50拠点  
冷蔵収容能力 約970,000トン

主要拠点

名港物流センター 22,356トン  
つくば物流センター 24,725トン  
福岡ISLAND CITY物流センター 32,265トン  
ちばリサーチパーク物流センター 30,475トン

## 通関事業

通関部 5拠点

## 食品販売事業

水産品 19拠点  
畜産品 4拠点  
農産品 1拠点  
その他 1拠点

### 買参権

国内主要漁港  
11か所で所有

- ・八戸
- ・女川
- ・塩釜
- ・佐世保
- ・長崎
- ・平戸
- ・気仙沼
- ・石巻
- ・唐津
- ・松浦
- ・枕崎

• 業界比較 品目別入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別入庫実績		2022年9月期	2023年9月期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	205 (10.3%)	195 (10.4%)	△10 (0.1pt)	△4.9%
	日冷倉12都市	1,997	1,880	△117	△5.9%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	480 (10.9%)	480 (11.0%)	0 (0.1pt)	0.0%
	日冷倉12都市	4,412	4,359	△53	△1.2%
農産品	ヨコレイ (シェア)	203 (16.2%)	216 (17.7%)	13 (1.5pt)	6.4%
	日冷倉12都市	1,250	1,219	△31	△2.5%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	586 (11.9%)	576 (11.7%)	△10 (△0.2pt)	△1.7%
	日冷倉12都市	4,912	4,923	11	0.2%
合計	ヨコレイ (シェア)	1,474 (11.7%)	1,467 (11.8%)	△7 (0.1pt)	△0.5%
	日冷倉12都市	12,571	12,381	△190	△1.5%

• 主要品目別 入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

主要品目別入庫	2022年9月期	2023年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
鮭 鱒	20,998	24,521	3,523	16.8%
工 ビ	21,092	18,252	△2,840	△13.5%
カ イ	14,450	17,662	3,212	22.2%
サ バ	12,753	11,908	△ 845	△6.6%
イ カ	8,654	8,204	△ 450	△5.2%
水産品計	204,603	194,673	△ 9,930	△4.9%
チ キ ン	179,795	199,632	19,837	11.0%
ポ ー ク	108,223	101,446	△ 6,777	△6.3%
ビ ー フ	56,635	50,757	△ 5,878	△10.4%
畜産品計	480,069	479,825	△ 244	△0.1%
イ モ 類	54,705	70,261	15,556	28.4%
果汁・ジュース	21,207	18,850	△ 2,357	△11.1%
農産品計	203,372	216,273	12,901	6.3%
冷凍食品他計	586,176	575,767	△ 10,409	△1.8%
合 計	1,474,220	1,466,539	△ 7,681	△0.5%



• 業界比較 品目別月末在庫累計 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別在庫累計		2022年9月期	2023年9月期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	863 (14.1%)	968 (14.9%)	105 (0.7pt)	12.2%
	日冷倉12都市	6,106	6,507	401	6.6%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	1,219 (13.7%)	1,268 (12.7%)	49 (-1.0pt)	4.0%
	日冷倉12都市	8,885	9,951	1,066	12.0%
農産品	ヨコレイ (シェア)	958 (31.2%)	1,031 (31.5%)	73 (0.2pt)	7.6%
	日冷倉12都市	3,067	3,276	209	6.8%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	694 (12.6%)	730 (12.6%)	36 (0.0pt)	5.2%
	日冷倉12都市	5,498	5,800	302	5.5%
合計	ヨコレイ (シェア)	3,734 (15.9%)	3,997 (15.7%)	263 (-0.2pt)	7.0%
	日冷倉12都市	23,556	25,534	1,978	8.4%

## ・ 主要品目別 売上数量・金額・単価（連結ベース）

（単位：数量=トン・金額=百万円・単価=円）

主要品目	2022年9月期			2023年9月期			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
ポーク	18,809	8,520	453	18,327	9,471	516	△ 482	951	63
チキン	10,034	3,948	393	11,573	4,733	409	1,539	785	16
ビーフ	2,988	2,605	871	1,770	1,778	1,005	△ 1,218	△ 826	134
鮭 鱒	8,045	7,672	953	9,391	9,516	1,013	1,346	1,843	60
ホタテ	7,484	7,535	1,006	5,067	6,298	1,243	△ 2,417	△ 1,237	237
サバ	44,702	8,505	190	42,336	9,422	222	△ 2,366	917	32
エビ	4,532	5,468	1,206	4,420	5,503	1,245	△ 112	34	39
カニ	823	3,579	4,349	429	1,144	2,667	△ 394	△ 2,435	△ 1,682
イカ	14,087	5,664	402	18,344	8,608	469	4,257	2,943	67
ホッケ	7,954	2,816	354	8,151	3,426	420	197	609	66
ウナギ	1,612	5,583	3,463	1,722	5,929	3,443	110	346	△ 20



— 「人」 「もの」 「地球」 に優しい食品流通のエキスパート —

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀ 横浜冷凍(株)ホームページは  
こちらをスキャン

### お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

TEL: 045-210-0011

E-mail: [info@yokorei.co.jp](mailto:info@yokorei.co.jp)

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>